

皆様に、最新の**労働災害情報**をおとどけしています！

災害発生情報 No.81

2015. 7. 24
(社) 筑西労働基準協会

筑西労働基準監督署管内で発生した労働災害の最新情報をお届けしています。各社の安全衛生管理活動にご活用ください。

【高温ばく露】

業種	食料品製造業	経験	6か月	年齢	18歳	男女	男性
発生月	—————	発生時刻		15時30分			
発生状況	工場内において焼き工程に従事していたが、足がけいれんし、その場で座り込んで様子を見たが良ならず、その後、救急搬送で病院へ運ばれた。						
負傷の程度／部位	熱中症			休業見込	7日		



◆ 再発防止のアドバイス

- 1 WBGT値を測定し、基準値を超えるおそれがある場合は、屋内の場合はエアコンの設定温度を下げる、屋外の場合又はエアコンが無い場合は、休憩までの時間を短くし、休憩時間は長めにしましょう。
- 2 熱への順化期間を設け、暑熱順化するまでは特に早めの休憩を心がけましょう。
- 3 スポーツドリンクや経口補水液、塩飴等を用意しましょう。

◆ コメント

平成26年は全国で12名の方が熱中症で亡くなっています。実は過去5年で最少でした。過去5年間の統計をみると、作業開始初日と2日目で全体の1/4弱、1週間以内で5割弱の方が亡くなっています。しかし、以前は作業初日と2日目で半数以上を占め、8割が1週間以内であったことを考えると、熱中症の予防対策がある程度、浸透してきたといえます。

12名の方の死亡原因を調べると、11名がWBGT値を測定しておらず、10名が熱への順化期間を設けていませんでした。更に定期的な水分、塩分の摂取は8名、健康診断の実施は7名においてされていないという結果になっています。

逆にこれらの対策を実施することにより「熱中症は予防できる」といえます。

【お願い】

この記事は、筑西労働基準監督署のご協力により作成し、随時お届けしています。お届けしている災害情報はすべて実際に発生した事故ですが、わかりやすいように一部加工する場合があります。